



富山大学芸術文化学部  
卒業・修了制作展

# GEIBUN 7

2016.2.20<sup>[土]</sup>-3.6<sup>[日]</sup> 9:30-17:00  
高岡市美術館 | 観覧料:無料(入館は16:30まで)  
休館日:2/22<sup>[月]</sup>,2/29<sup>[月]</sup>

開館時間 9:30~17:00  
休館日 2/22 (月)、2/29 (月)  
会場 高岡市美術館  
観覧料 無料



公益財団法人 高岡市民文化振興事業団

**高岡市美術館**

〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号  
TEL. 0766-20-1177 <http://www.e-tam.info/>

広報 富山大学芸術文化学部総務課(担当:落合)  
問い合わせ 〒933-8588 富山県高岡市二上町180番地  
TEL. 0766-25-9139 FAX. 0766-25-9212 E-mail. [tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp)

  twitter,facebook で随時情報発信しています。

## 展覧会の概要

|                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 展覧会名称        | GEIBUN 7 -七彩- (※呼称:ゲイブン セブン -シチサイ-)<br>- 富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展 -  |
| 2. 会場           | 高岡市美術館<br>企画展示室1～3、市民ギャラリー、ビトークホール   |
| 3. 会期           | 2016年2月20日(土)～3月6日(日) [14日間]   |
| 4. 休館日          | 2月22日(月)、2月29日(月)  |
| 5. 観覧料          | 無料   |
| 6. 展示作品         | 富山大学芸術文化学部・大学院芸術文化学研究科で学んだ約130人による卒業・修了制作作品(作品数約130点)<br><br>主な分野<br>・絵画<br>・イラストレーション<br>・彫刻<br>・空間アート<br>・アニメーション<br>・インタラクティブ/メディア・アート<br>・映像<br>・視覚デザイン<br>・ブランドデザイン<br>・デジタル・コンテンツ<br>・工芸<br>・製品デザイン<br>・インテリアデザイン<br>・建築デザイン<br>・都市デザイン<br>・ランドスケープデザイン<br>・論文<br>コンセプトメイキング<br>人間工学研究<br>文化施策研究など |
| 7. WEB          | <a href="http://www.e-tam.info/">http://www.e-tam.info/</a> (高岡市美術館ウェブサイト)<br><a href="http://www.tad.u-toyama.ac.jp">http://www.tad.u-toyama.ac.jp</a> (芸術文化学部ウェブサイト)   |
| 8. 主催           | 富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展実行委員会<br>(富山大学芸術文化学部、(公財)高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館)   |
| 9. 共催           | 高岡市、高岡市教育委員会   |
| 10. 後援          | 富山県、富山県教育委員会   |
| 11. 協賛          | 高岡商工会議所、高岡市美術館友の会<br>高岡短期大学・富山大学芸術文化学部同窓会「創己会」   |
| 12. 広報<br>問い合わせ | 富山大学芸術文化学部総務課(担当:落合)<br>〒933-8588 富山県高岡市二上町180番地<br>TEL. 0766-25-9139<br>FAX. 0766-25-9212<br>E-mail. tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp   |

## 「GEIBUN 7」の概要、みどころ

---

### 今年度のテーマ「七彩」

集まれば、もっと、美しい

---

平成28年3月、芸文=富山大学芸術文化学部は**第7期卒業生を、大学院芸術文化学研究科は第4期修了生を社会に送り出します**。この度の卒業生たちは4年前の平成24年、修了生たちは6年前の平成22年に様々な夢や希望を抱き、この“ものづくりのまち高岡”に降り立ちました。芸文が提唱する**融合教育**によって、**芸術、工芸、デザイン、建築科学、文化施策**などを志向しながらこれまで歩んできました。学生たちが設定した**今年度のテーマは「七彩-シチサイ-」**。本展を、「七彩」の言葉の意味でもある“美しい彩り”で溢れるものにし、**学生一人ひとりが生み出す“色”を是非会場でご覧ください**。会期中は学生たちが会場に待機しております。どうぞ作品の制作意図や、技法のことなど、**近くにいる芸文生たちにお気軽にお尋ね下さい**。ご来場いただいた皆さまとの出会いと対話を、芸文生一同、楽しみにお待ちしております。

### 企画展としての卒展、その新しいかたち

高岡市美術館との協働による、全国でも例をみない試み

---

芸文は、高岡短大時代から培ってきた**地域連携と地域貢献**の実績を引き続き発展させ、学生や教育と地域社会がコラボレーション（協働）する幾多の事業を実現させてきました。2007年11月、芸文と高岡市は包括的な連携協定を締結、地域と大学との連携の様々な試みを展開しています。

**「GEIBUN 7」**もその試みの一つです。学生達が芸文で培った成果を、市民の皆さまをはじめ、広く地域の方々と共有するため、高岡市美術館を開催会場としたのです。いわゆる“卒展”が、“**公立美術館での企画展**”として開催されることは、**全国でも例のないこと**です。この展示を実現するために、学生・教員・美術館学芸員で組織されたワーキンググループにおいて多くの協議を重ねました。美しい展示空間や意義深いイベントを通じ、**新しい「卒展」のかたち**を、今後も提案し続けていきます。

## 「芸文の学生企画による、充実したイベント内容」

学生たちが熱望した、各界のトップランナーたちのトーク・ミーティングなど

---

「GEIBUN 7」では、学生たちの展示に併せて、芸文の**学生たちが招聘した著名なゲストによる講演会を開催**します。芸文の学生たちが、**"いまだからこそ、この方の声が聞きたい"**と、それぞれの専門性の中で熱望した、各界を代表する**今日的トップランナー5名**が、「GEIBUN 7」に登場します。講演会は会期中の土曜と日曜に開催されます。すべて聴講無料となっております。また、開催日には**オープニングセレモニーと併せ内覧会と展示空間での学生による演奏**が行われます。さらに同会期中に、高岡市土蔵造りのまち資料館（9：00～16：30、火曜休館、観覧無料）と高岡御車山会館（9：00～17：00、火曜休館、観覧無料）において**「よつま展」**が行われ、院生、研究生による和空間での作品展示を行います。また、2月27日と28日の2日間は、高岡駅改札前万葉ロードにて**「メイキング展」**が行われ、GEIBUN7出品作品の裏側（スケッチ、模型、資料等）を展示します。「GEIBUN 7」が、多くの方々と**芸術文化を通して交流できる場**となるように、皆さまのご来場を楽しみにお待ちしております。

## イベントの概要

### ◎オープニングセレモニー・内覧会 参加無料

開催前日に、オープニングセレモニーを行います。セレモニー後は、内覧会と展示空間での学生による演奏があります。(14:30からもオープニングに先駆け、学生による演奏があります)

#### vol.1 芸文・プレゼンツ

**19日** (金) **14:30受付開始 15:00~17:00** /会場:高岡市美術館 エントランスホール

### ◎よつま展 観覧無料

本展会期中、下記2会場にて、院生、研究生による和空間での作品展示を行います。

#### vol.2 芸文・プレゼンツ

**2/20** (土) - **3/6** (日)

会場/**高岡市土蔵造りのまち資料館 9:00~16:30** (火曜休館)

**高岡御車山会館 9:00~17:00** (火曜休館)

休館日/2/23(火)、3/1(火)

主催/富山大学芸術文化学部、富山大学大学院芸術文化学研究科

後援/高岡市、高岡市教育委員会

### ◎メイキング展 観覧無料

GEIBUN7出展作品の裏側(スケッチ、模型、材料、道具、資料等)をご覧いただく**2日間**の特別展示。卒展会場(美術館)では見られない内容です。本展と合わせて是非ご覧ください。

#### vol.3 芸文・プレゼンツ

**27日** (土) **28日** (日) **10:00~17:00** /会場:高岡駅改札前 万葉ロード

## ◎スペシャルゲスト講演会

聴講無料

定員80名

当日先着順

会期中の土・日は、芸文生がホストとなって各界の著名なゲストをお呼びし、貴重なトーク・ミーティングを開催します。

### vol.4 デザイン情報コース・プレゼンツ

20日(土) 13:30～ /会場:高岡市美術館 地階ビトークホール

#### 「デザインプロセスのコミュニケーション」

#### カイン トモヤ アートディレクター

かいいし・ともや 大学で心理学とマーケティングを学んだ後、2000年から東京でグラフィックデザイナーとして仕事を始め、2004年からグラフィックデザインのオフィス「room-composite」の代表を務める。音楽CDや映像のパッケージ、広告、エディトリアルなどを手がける。香港国際ポスタートリエンナーレ2010金賞・KAN Tai-Keung 賞受賞。東京造形大学助教。

#### ホスト・コースの紹介:

からまった意図をほぐす力

#### デザイン情報コース

現代社会における「答えを創り出す力」「コンセプトを創り出す力」の育成を目指し、企業の制作部門だけでなく、企画・開発部門で新たな事業を創出し得る人材を育てる。

### vol.5 デザイン工芸コース・プレゼンツ

21日(日) 13:30～ /会場:高岡市美術館 地階ビトークホール

#### 「作家デビューにむけて」

#### 東海 裕慎 地域ものづくりプロデューサー

とうかい・ゆうしん 富山県氷見市生まれ。専門学校卒業後、IT会社を経て、2002年 株式会社スカイ・アイティー設立。2012年から高岡市の山町筋にあるファクトリークラフトショップ「はんぶんこ」の代表、プロデューサーを務める。「ものづくり」に視点を据え、高岡市の職人・作家の支援や、自身も作家として製品を制作販売するなど幅広く活躍中。

#### ホスト・コースの紹介:

手わざからはじまるデザイン

#### デザイン工芸コース

芸術的感覚とデザイン造形力、技術を育成し、また日本文化の伝統や世界の工芸・デザインの歴史と理論も学ぶ。工芸作家、クラフト、インテリア、プロダクトデザイナーを世に送り出す。

## vol.6 造形建築科学コース・プレゼンツ

27日(土) 13:30～ / 会場: 高岡市美術館 地階ビトークホール

### 「風景、まち、建築について考えること」

## 大西 麻貴 建築家

おおにし・まき 1983年、愛知県生まれ。2006年、京都大学工学部建築学科卒業。2008年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。2008年 同大学博士課程在籍中に、百田有希氏との共同主宰で大西麻貴+百田有希/o+h設立。主な作品に、福岡市の公園内につくった休憩施設「地層のフォーリー」、「千ヶ滝の別荘」、「二重螺旋の家」など。東日本大震災の被災者支援活動として、世界的建築家の伊東豊雄氏とともに設計した、東松島「こどものみんなの家」が2013年1月に竣工。物語性のある作品をつくる若手建築家として、現在注目を集めている。

#### ホスト・コースの紹介:

造形建築と造形科学の融合

### 造形建築科学コース

建築分野では家具設計から環境デザインにわたる実務設計能力を学び、製品科学分野では材料工学、人間工学などの製品設計・製造技術等、工学から芸術まで多岐にわたる授業を展開。

「造形建築科学コース」は、平成27年度から「**建築デザインコース**」に名称が変更になりました。

## vol.7 文化マネジメントコース・プレゼンツ

28日(日) 13:30～ / 会場: 高岡市美術館 地階ビトークホール

### 「地域と美術館」

## 鷺田 めるろ 金沢21世紀美術館キュレーター

わしだ・めるろ 1973年京都市生まれ。東京大学大学院美術史学修士課程修了。1999年より金沢21世紀美術館のキュレーターとして、美術館の立ち上げに携わる。アトリエ・ワン、島袋道浩氏の個展や「金沢アートプラットフォーム2008」「3.11以後の建築」など地域の人々の参加をテーマとした、現代美術や建築の展覧会を企画する。2016年1月30日より開催する坂野充学氏の個展を担当。坂野氏は石川県白山市鶴来出身の作家で、同時開催として行う、1990年代に鶴来で実施されたアートフェスティバルに関する資料展も企画する。

#### ホスト・コースの紹介:

文化芸術による豊かな社会を追求

### 文化マネジメントコース

文化・芸術の深い理解と、現代ビジネスに通用する実践的知識を学び、文化事業企画運営、文化振興施策、文化産業の起業、そして文化的まちづくりと、幅広い分野で活躍する人材を育成。

「文化マネジメントコース」は、平成27年度から「**芸術文化キュレーションコース**」に名称が変更になりました。

## vol.8 造形芸術コース・プレゼンツ

3/6日(日) 13:30～ / 会場: 高岡市美術館 地階ビトークホール

---

「たったひとつの、かたち」

### はしもと みお 彫刻家

はしもと・みお 兵庫県出身。2005年東京造形大学美術学部彫刻専攻卒業、2007年愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻領域修了。2014年ユニクロCMヒートテック彫刻家篇に出演。「明日いなくなってしまうかもしれない、儚い命。だからこそ美しい、ありのままの自然な肖像。わたしがつくりたいのは、そんなたったひとつの、目の前に生きている、生きていた、いきものたち。ただの犬ではなく、ただの猿でもない、世界にひとつの、たったひとつのかたち。その感動を、伝えたい。何千年と時が経とうと、息吹の感じられる彫刻を、つくっていききたい」

#### ホスト・コースの紹介:

イメージーションの視覚化

#### 造形芸術コース

21世紀の芸術表現をリードできるアーティストを育てるため、絵画、彫刻、メディアアート、立体造形、環境造形、ミクストメディア(複合表現)など多岐にわたる分野の科目を開設。

## 富山大学芸術文化学部の概要

**沿革** 1983年、高岡短期大学開学。全国でも珍しい国立短期大学として、産業工芸学科、産業情報学科（のちに産業造形学科、産業デザイン学科、地域ビジネス学科）が設けられた。2005年、富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学3校の統合により、富山大学芸術文化学部として4年制に移行。2011年、大学院芸術文化学研究科（修士課程）芸術文化学専攻が設置される。2015年、「造形建築科学コース」は「建築デザインコース」に、「文化マネジメントコース」は「芸術文化キュレーションコース」にコース名称を変更。

**理念** 「芸術文化に対する感性と幅広い分野の知識・技術を活用し、人間と自然や社会とのかかわりの中で問題を発見し、解決しようとする意欲的な人材の育成」「地域の幅広い伝統産業を継承し、一層発展させることのできる人材の育成」を目指し、『融合教育による総合的資質の育成』、『芸術文化の創り手、使い手、つなぎ手の育成』を教育目標とし、単に芸術家を育てることを主たる目標とした他大学とは一線を画した教育・研究を行う。

**コース構成** 1学部（芸術文化学部）1学科（芸術文化学科）5コース（造形芸術コース、デザイン工芸コース、デザイン情報コース、造形建築科学コース※1、文化マネジメントコース※2）で構成。全教員がひとつの学科に所属、また学生の科目選択範囲を広げ各コースの必修科目を極力少なくして、コースの垣根を越え、諸学問の融合教育を受けることを可能にしている。

※1「造形建築科学コース」は、平成27年度から「**建築デザインコース**」に名称が変更になりました。

※2「文化マネジメントコース」は、平成27年度から「**芸術文化キュレーションコース**」に名称が変更になりました。

## 高岡市美術館の概要

**沿革** 1951年12月、古城公園内に開館。戦後の我が国で最も早く設立された公立美術館の一つ。1994年9月、現在の場所内で内井昭蔵氏設計による建物に新築、リニューアルオープンした。美術・工芸の分野に優れた作家を輩出してきた郷土の歴史を次代に伝えることを目指す一方、優れた企画展の運営を目指す。

## 高岡市美術館へのアクセス

### 北陸新幹線

「新高岡駅」より 富山駅行きバス（高岡駅経由）「中川」下車、徒歩2分

「高岡駅」より 徒歩：20分（北東約2km）

バス：職業安定所前行「工芸高校前」バス停下車、徒歩1分

富山行「中川」バス停下車、徒歩2分

JR氷見線：「越中中川（えっちゅうながわ）駅」下車、徒歩2分

**能越自動車道** 高岡北ICから約10分、高岡ICから約15分

**北陸自動車道** 小杉（こすぎ）ICから約20分、砺波（となみ）ICから約30分

**地下駐車場** 2時間まで駐車料金無料  
（2時間を超えると30分ごとに100円、車高制限2.2メートル）

※大型バスなどでご来館の場合はお問い合わせ下さい。

※高岡文化の森駐車場は無料です。



## 関連プログラム

### ■オープニングセレモニー

2/19[金] 15:00~

会場 高岡市美術館エントランスホール(参加無料)

セレモニーとあわせて、内覧会と展示空間での学生による演奏がございます。ぜひご来場下さい。

### ■講演会

各日とも 13:30~

会場 高岡市美術館ビートークホール  
(聴講無料、当日先着80名)

芸文生がホストとなって各界の豪華なゲストをお呼びし、貴重なトーク・ミーティングを開催します。

### 「風景、まち、建築について考えること」

おおにし まき

大西 麻貴 建築家

2/27[土] 13:30~

1983年、愛知県生まれ。2006年、京都大学工学部建築学科卒業。2008年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。2008年、同大学博士課程在籍中に、百田有希氏との共同主宰で 大西麻貴+百田有希/o+h 設立。主な作品に、福岡市の公園内につくった休憩施設「地層のフォリー」、「千ヶ滝の別荘」、「二重螺旋の家」など。東日本大震災の被災者支援活動として、世界的建築家の伊東豊雄氏とともに設計した、東松島「こどものみんなの家」が2013年1月に竣工。物語性のある作品をつくる若手建築家として、現在注目を集めている。

### ■よつま展

2/20[土]-3/6[日] (火曜休館、観覧無料)

会場 高岡市土蔵造りのまち資料館 9:00~16:30

高岡御車山会館 9:00~17:00

院生、研究生による和空間での作品展示を行います。

### 「デザインプロセスのコミュニケーション」

カイトモヤ アートディレクター

2/20[土] 13:30~

大学で心理学とマーケティングを学んだ後、2000年から東京でグラフィックデザイナーとして仕事を始め、2004年からグラフィックデザインのオフィス「room-composite」の代表を務める。音楽CDや映像のパッケージ、広告、エディトリアルなどを手がける。香港国際ポスタートリエンナーレ2010金賞・KAN Tai-Keung 賞受賞。東京造形大学助教。

### 「地域と美術館」

わした

鷺田 めるろ 金沢21世紀美術館キュレーター

2/28[日] 13:30~

1973年京都市生まれ。東京大学大学院美術史学修士課程修了。1999年より金沢21世紀美術館のキュレーターとして、美術館の立ち上げに携わる。アトリエ・ワン、島袋浩造氏の個展や「金沢アートプラットフォーム2008」「3.11以後の建築」など地域の人々の参加をテーマとした、現代美術や建築の展示会を企画する。2016年1月30日より開催する坂野充学氏の個展を担当。坂野氏は石川県白山市鶴来出身の作家で、同時開催として行う、1990年代に鶴来で実施されたアートフェスティバルに関する資料展も企画する。

### ■メイキング展

2/27[土], 2/28[日] 10:00~17:00

会場 高岡駅改札前万葉ロード(観覧無料)

GEIBUN 7 出品作品の裏側(スケッチ、模型、資料等)を展示します。

### 「作家デビューにむけて」

とうかい ゆうしん

東海 裕慎 地域ものづくりプロデューサー

2/21[日] 13:30~

富山県氷見市生まれ。専門学校卒業後、IT会社を経て2002年、株式会社スカイ・アイティイー設立。2012年から高岡市の山町筋にあるファクトリークラフトショップ「はんぶんこ」の代表、プロデューサーを務める。「ものづくり」に視点を据え、高岡市の職人・作家の支援や、自身も作家として製品を制作販売するなど幅広く活躍中。

### 「たったひとつの、かたち」

はしもと みお 彫刻家

3/6[日] 13:30~

兵庫県出身。2005年東京造形大学美術学部彫刻専攻卒業、2007年愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻領域修了。2014年ユニクロCMヒートテック彫刻家篇に出演。「明日いなくなってしまうかもしれない、儚い命。だからこそ美しい、ありのままの自然な肖像。わたしがつくりたいのは、そんなたったひとつの、目の前に生きている、生きていた、いきものたち。ただの犬ではなく、ただの猿でもない、世界にひとつの、たったひとつのかたち。その感動を、伝えたい。何千年と時間が経とうと、息吹の感じられる彫刻を、つくっていきたい」

## 集まれば、もっと、美しい

平成28年2月、富山大学芸術文化学部で学んだ約130人による卒業・修了制作展「GEIBUN 7」を開催致します。

今年のテーマは「七彩(シチサイ)」です。大学生活、人とのつながりの中で個性や感性を磨き、私たちの中で一人一人の色が作られました。一つでも美しい、それが集まればもっと美しい。今回の展示会は「七彩」の言葉の意味でもある“美しい彩り”で溢れるものにしていきたい、その思いを込めて「七彩」をテーマとしました。会期中には学生企画によるゲスト講演会やイベントも行います。皆様のご来場、芸文生一同お待ちしております。

富山大学芸術文化学部 卒業・修了制作展

# GEIBUN 7

シチサイ  
七彩

2016.2.20[土]-3.6[日] 9:30-17:00

高岡市美術館 | 観覧料: 無料(入館は16:30まで)  
休館日: 2/22[月], 2/29[月]

詳しいイベント情報はこちらまで。

富山大学芸術文化学部 |    情報随時発信中!

主催 富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展実行委員会  
(富山大学芸術文化学部、公益財団法人高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館)  
共催 高岡市、高岡市教育委員会  
後援 富山県、富山県教育委員会  
協賛 高岡商工会議所、高岡市美術館友の会  
高岡短期大学・富山大学芸術文化学部同窓会「創己会」  
問合せ 富山大学芸術文化学部総務課  
〒933-8588 富山県高岡市二上町180番地  
Tel 0766-25-9139 Fax 0766-25-9212 E-mail tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp  
http://www.tad.u-toyama.ac.jp/



公益財団法人 高岡市民文化振興事業団  
**高岡市美術館**

〒933-0056  
富山県高岡市中川1丁目1番30号

TEL 0766-20-1177

http://www.e-tam.info/

北陸新幹線  
●新高岡駅より  
富山駅行バス(高岡駅経由)  
「中川」下車、徒歩2分

●高岡駅より  
徒歩: 約20分(北東約2km)  
電車: JR氷見線「越中中川駅」  
下車、徒歩2分

バス: 職業安定所前行バス「工芸  
高校前」下車、徒歩1分

○駐車場: 地下駐車場2時間まで無料  
高岡文化の森駐車場無料

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。